

一般質問

・白羽のんのん保育園交通事故  
対策について  
・市内循環バス御前崎側起終点の  
延伸について



小田芳久

**問**

送迎車両の増加に伴い、朝の通園時の交通事故が心配です。白羽小学校敷地内の電柱及びフェンスにより視界が遮られています。電柱の撤去など交通安全対策について伺う

**答**

右折による県道への出入りは事故の危険性がありまはす。保護者に「朝の園児を送る時間帯は、出入りは左折のみ」の厳守をお願いする予定です。また、白羽小学校敷地内の電柱は現在、通信用に使用しています。本電柱の撤去やフェンスの一部カットなどの対策は、状況により検討します。

**問**

撤去した垣根部分を舗装して出入口の拡張や2車線化は可能か

**答**

交通の多い時間帯は、右折車両が混在すること自体が交通の混雑を助長しかねないと判断しました。そのため、右折レーンの設置で対応するのではなく、「朝の出入りは左折のみ」でお願いすることにより対応したいと考えています。

**問**

通園・通学、高齢者の買い物需要に対応するための住民福祉対策として、市内循環バスの御前崎側の起終点を市観光物産会館なぶら館まで延伸する考えはあるか

**答**

バスの利便性や費用対効果を考えますと、延伸については大変難しい状況です。市内全体の公共交通として、費用対効果を検証しながら、市民にとって利用しやすい路線となるよう、しずてつジャストライン(株)と連携を図るとともに、コミュニティバスやライドシェアを視野に、公共交通のあり方を検討していきます。

**問**

バス運行に資源エネルギー庁の「原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金」を活用する考えはあるか

**答**

現在、交付金の対象は静岡県や近隣市町と丁寧な協議を行いながら、活用を積極的に進めたいと考えています。

一般質問

・小中学校の学力向上について  
・財政健全化(歳入増加策)について



高田和幸

**問**

今年度の全国学力・学習状況調査の結果及び生活習慣に関する数値が低くなったことについて、教育長に伺う

**答**

本市正答率が低いことは課題と捉えています。小中学校の生活習慣の数値が低かったことを市全体で共有し、家庭や地域と連携して改善に取り組みます。

**問**

6月議会で依頼した保護者アンケート結果について伺う

**答**

アンケート結果では、テストに現れる認知能力だけでなく、相手を思いやる力やコミュニケーション力などの非認知能力を大切にしたいとの回答が圧倒的に多くありました。

**問**

平均正答率を公表せずにアンケートを行ったことで、この回答になったのでは

**答**

平均正答率はパンフレットやホームページで公表しています。アンケートとは関連性がないと考えます。

**問**

探究的学びを推進するため、児童生徒の自主性に任

**問**

せ、夏休みの宿題は少ないと聞いた。基礎学力定着に宿題は必要ではないか

**答**

子どもを第一に考えた改善や検討が必要です。与えられた学習から自ら課題意識を持って取り組む学びへの転換が求められており、そのための授業改善を一層進めていきたいと考えます。

**問**

本市の標準的な予算規模と新たな財源について伺う

**答**

本市の標準的な予算規模は約149億円になります。歳入増加策として、公共施設のネーミングライツや公用車などへの広告掲載料を考えています。

**問**

市職員から駐車場料金の微収やみなと夏祭の有料観覧席販売を導入する考えはないか

**答**

今後検討します。

**問**

使用済核燃料税導入の考えは

**答**

県や中部電力(株)と協議が必要ですが、検討していきま